

取組事例 バイオエネルギーや熱利用の調査・研究によるバイオガスプラントの有効活用の推進 (鹿追町)

鹿追町では、バイオガスプラントを核とするゼロカーボンシティの取組を進め、将来の世代へつなげるよう、環境のダメージが少ないまちづくりを目指している。

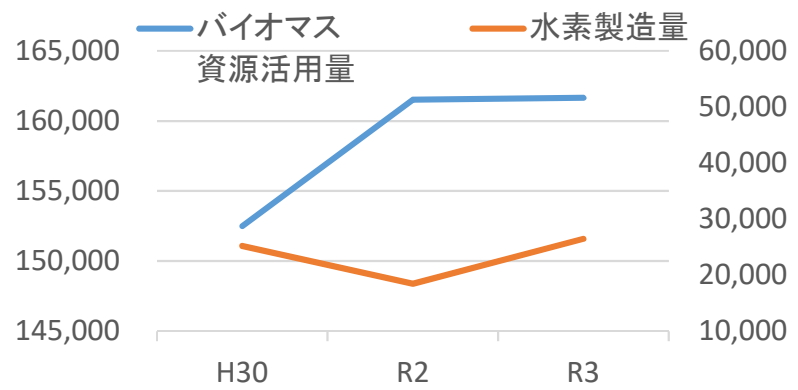
関連数値目標・KPI

	基準値 (H30)	実績 (R3)	目標値 (R5)	進捗率 (%)
バイオマス資源活用量	152,500t	161,652t	181,000t	89%
水素製造量	25,208m³	26,484m³	50,000m³	53%

取組の推進体制

役場、エア・ウォーター株式会社、鹿島建設株式会社、日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社、日本エアプロダクツ株式会社が協力し、水素サプライチェーン実証事業に取り組み、適切な役割分担の下、官民の連携により取組を効果的に推進。

取組の状況 ※関連するデータ等の状況、推移等を記載



バイオマス資源活用量が増加傾向にある。

取組事例

しかおい水素ファームにて水素を製造

- 【事業概要】
- 国内初、家畜糞尿由来のバイオガスを原料に水素を製造供給している。
 - 北海道初の定置式水素ステーションである。
 - 環境省の実証事業にて、水素サプライチェーンの実証と、省エネ化・低コスト化に向けた課題を抽出。
(平成27年～令和3年までの7年間)



- 【効果】
- バイオガス化施設の普及：バイオガスに水素という新たな活用先の発掘
 - 水素社会の促進：酪農地帯への水素ステーション、燃料電池、FCV等の普及促進
 - 低炭素化：化石燃料利用の大幅削減
 - 地域経済活性化：ゼロカーボン農産品として地域農業の差別化、関連産業の創出
 - 地域の強靱化：自立、分散型エネルギーシステムの構築、非常時電源の確保

【成果】
毎年水素を一定量製造することで、化石燃料の利用を削減している。

【今後の取組】
地域の未利用資源を活かしたクリーンエネルギー供給モデルの構築を目指すエア・ウォーター北海道(株)と、鹿追町と地域スマートソサエティ構想に向けて連携する鹿島建設(株)が、実証事業が終了する令和4年4月から、相互の知見・ノウハウを生かし共同で本実証事業を商用化・事業化する。